

スペック

1/4" INPUT

Input Impedance: 10M Ohms
Preamp Gain: +4dB to +26dB
Input Level: -25dBv to -5dBv
(0.053Vrms to 0.5Vrms)

XLR INPUT

Input Impedance: 68k Ohms
Preamp Gain: +1dB to +65dB
Input Level: -45dBv to -1dBv
(0.5mVrms to 0.884Vrms)

AUX INPUT

Input Impedance: 3.6k Ohms
Input Level: +3dBv

EQ

Bass: ±12dB @ 80Hz
Mid: ±12dB @ 1kHz
Treble: ±12dB @ 10kHz

MIX IN

Input Impedance: 68k Ohms
Input Level: +1.87dBv (1.237Vrms)

MIX OUT

Output Impedance: 100 Ohms
Output Level: -2.18dBv (0.778Vrms)

OUTPUT SPL MAX

117dB Peak, 115dB Continuous

FREQUENCY RESPONSE

65Hz to 18kHz (-3dB)

POWER

AC Power Consumption: 220W Max
AC Current Draw: 230V = 1A, 110V = 2A Max
Voltage Range: 100V to 240V

サイズ

465 x 260 x 490mm (HxWxD)

重さ

17.6Kg

ポールマウントサイズ

1-3/8" (35mm)

* スペックは予告なく変更される場合があります。

L.R. Baggs

SYNAPSE

Personal PA System

取扱説明書

保証：1年間 付属の保証書をお読み下さい。

品質向上のため予告なく仕様・価格等が変更になる場合があります。
L.R.Baggs 製品に関しては最寄りのお店にお問い合わせになるか、ホームページ www.jes1988.com をご参考にして下さい。

L.R.Baggs日本総代理店:  JES International, Inc. 470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1 TEL:0561-72-9801 mail:web@jes1988.com

発売元：JES International Inc.

使用上の注意

シナプスのスピーカーと電子回路は、通常の使用範囲以上の条件下で厳しくテストされており、日常的な利用やツアーでも問題なく使用できる品質をもっています。しかし全ての電気機器同様にいくつかの注意が必要です。

- 非常に暑い日に直射日光のあたる場所に長時間放置しないで下さい。スピーカーやパワーアンプが過熱して破損することがあります。
- クリップライトまたはリミッターライトが常時点灯している時、あるいは歪んだ音が鳴っている時など、スピーカーの限界を超える音量で再生しないで下さい。
- シナプスはフルレンジ PA システムです。スピーカーに対してシームレスな制限と保護が働くよう設計されており、多くの楽器の再生が可能です。しかしシナプスは 8 インチのウーファーを使用しており、75 Hz 以下の低音レベルを長時間再生するのには向いていません。キーボード、ベースギター、録音された音源からの低音を再生する場合や、低音を補完するためにサブウーファーと組合せている場合などは、本体の音量を下げてください。
- シナプスは広い指向性のお陰で、まわりの影響を受けにくく大音量で鳴らすことができます。フィードバックも起きにくい構造です。しかし、全てスピーカーと同様に、長時間に渡って大音量を鳴らし、聴覚障害が起きないように注意して下さい。またフィードバックが発生する位置にマイクを立てないように注意してください。これは聴力障害が起きると共にスピーカーを破損する可能性があります。
- シナプスは強度と耐久性それに美しいデザインのために最適なハウジングの仕上げ、プラスチック、木材、金属などが使われています。綺麗な状態で使用するために付属のカバーをお使い下さい。しかしライブツアーなどに使用する場合はツアーケースを利用するほうが良いでしょう。運搬の際は、安全な場所に置き、適切に保護して下さい。

おめでとうございます!

今あなたは、オーディオ史上における歴史的な一商品となる、パーソナルPAスピーカーのオーナーとなりました。この画期的なラウドスピーカーは、オーディオの周波数帯域全体をカバーし、息をのむような忠実さと傑出した明晰さを持つサウンドを再生します。

このシナプスは全ての周波数帯で180度幅の指向性を持ち、あなたの声や楽器の音が、同じようにクリアで暖かく、すばらしい音となって聞こえます。オールディスクリットで構成されたスタジオクオリティのプリアンプ部と軽量なクラスDパワーアンプが、ポータブルPAスピーカーと最上級の信号を供給します。

プレイする度に、この新しいスピーカーの能力が見つかり、より一層プレイを楽しめることでしょう。このマニュアルにはアンプを最大限に有効利用するための、使い方のヒント、コツなども記載しています。



ロイド・バグス

クイックスタート

ご使用の前に、この安全マニュアルをお読み下さい。

1. PAスピーカースタンドに設置する

一般的なポール径35mmのスタンドをご利用下さい。片手で上部ハンドルを持ち、もう片手でスピーカーをしっかりと支えながら持ち上げ、底面のスタンド用ホールにスタンドをはめ込みます。

2. 電源スイッチがオフを確認する

電源ケーブルを接続する前に、電源スイッチがO(オフ)側になっていることを確認してください。

3. 電源ケーブルを接続する

まず付属の電源ケーブルをアンプ本体に接続、その後で100V電源に接続して下さい。

4. マスターボリュームを下げる

マスターボリュームを反時計周りに回し、完全に下がっていることを確認します。

5. 電源を入れる

電源スイッチを" I "側に押し、電源を入れます。スイッチを押してから数秒で電源が入ります。

6. 楽器やマイクなどを接続する

楽器やマイクをチャンネル 1 もしくは 2 に接続します。

7. 入力ゲインを調節する

接続した楽器やマイクの出力に合わせて、入力ゲインつまみを調節します。大きな音が入力した時に赤のLEDが表示される位が最適です。大き過ぎる入力歪みの原因となりますのでご注意ください。

8. ミュートスイッチを確認して解除する

チャンネルごとにMuteスイッチがあります。ライトが付いている時は消音されています。スイッチを押し、音を出します。

9. マスターボリュームを調節する

お好みの音量まで、ボリュームを上げます。

10. 演奏する!

安全にお使いいただくための重要なお知らせ

・この説明書を読んでください。

・この説明書を保存してください。

・すべての警告に注意してください。

・説明書の通りに使用してください。

・水の近くで、この製品を使用しないでください。

・手入れは乾いた布でのみ行ってください。

・どのような換気孔も塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。

・ストーブ等の暖房器具や、他のアンプなど、熱くなる可能性のある他の装置の近くには設置しないで下さい。

・本製品の電源プラグは、グラウンド極付きの3極コンセントに対応しています。3極コンセントの電源に接続される場合は、変換プラグを外してご使用ください。通常の2極プラグでご使用になられる場合は、付属の変換プラグをつけたままご使用ください。

・電源コードや電源プラグは、アンプから壁コンセントの間まで、踏まれたり、挟まれたりすることのないようお気をつけ下さい。

・アタッチメント/アクセサリは、メーカー指定の物をお使いください。

・スタンドやキャリアなどに積む場合は、耐久重量を確認の上で、お使い下さい。キャリアをご使用になる場合は、転覆による損傷にご注意ください。

・雷雨の間、または長い期間の間未使用の時には、プラグを抜いておいてください。

・修理等のサービスが必要な場合は、専門の業者にご依頼下さい。電源コードまたはプラグが破損した、液体がこぼれたり、衝撃を受けたりした、あるいは雨にさらされたなどして、装置に異常が見られる場合は、直ちに使用を中止して、業者に相談して下さい。



このマークが書いてある場合は、間違った使用の場合、感電の恐れがある場合についての警告です。



このマークが書いてある場合は、使用上での重要な操作とメンテナンスについての警告です。



警告

家事または感電の危険を減らすために、このスピーカーを雨または湿気にさらさないでください。このスピーカーを水に浸けたり、水が飛び跳ねることないようにして下さい。飲み物または花びんなど液体で満たされた物体をアンプの上に置かないで下さい。

コントロールパネル

1. POWER 電源

一般的な電源ケーブル用のIEC規格の電源ソケットです。原電は100Vから240Vまで対応します。付属の電源ケーブルをお使い下さい。ユーザーが交換できるヒューズはありませんので、問題が起きたときはお買上げのお店にご相談下さい。 付属ケーブル以外の電源ケーブルの使用は故障の原因となりますのでお止めください。

電源ソケットの左横がアンプ本体の電源スイッチです。スイッチ上の“I”マークがオン、スイッチ下の“O”マークがオフです。電源コードをプラグから抜き差しする時は、常にスイッチを“オフ”にしておいてください。

2. INPUTS インプット

入力端子は、1/4インチとXLRのどちらも使えるコンボジャックになっています。ほとんどの楽器、マイク、DIシステムに対応します。

3. 48V PHANTOM POWER 48V ファントムパワースイッチ

重要事項:ファントム・パワースイッチを作動または作動中止する際は、必ずチャンネルをミュートするかゲインを落とす、またはマスターボリュームを落としてください。このコントロールは、コンデンサーマイクなどのファントム・パワーを必要としているマイクロフォンに、+48Vのファントム・パワーを供給します。

4. PAD パッド

ラインあるいはマイク入力時における、入力レベル差を緩和します。

5. MUTE ミュート

各チャンネルのミュートボタンは、ミキサー卓にあるチャンネル・ミュート同じです。ボタンが“in”の位置にある時、信号はミュートされています。ボタンが“out”の位置にある時、信号はミュートされていません。ミュート時は、ミュートボタンの上のLEDが点灯しています。これはチャンネル・ミュートですので、ただ各Ch1またはCh2の信号を停止するだけで、スピーカー自体はミュートしてません。ミュート機能を使ってもauxインプットは消音されませんので、バックグラウンドミュージックはそのまま流せます。

6. PHASE フェイズ

信号の極性を逆にするには、ボタンを押します。適切なフェーズ関係は良い音を出し、フィードバックしにくくなります。フェイズは演奏する場所によって変わるため、使用する度に両方のフェーズを試すようにお勧めします。

7. GAIN ゲイン

各インプットの入力レベルと出力レベルを一つつまみで調整します。大きな音でプレイしながら、LEDが点灯するまで、つまみを時計方向に回していきます。その後、最も大きな音の時に瞬間点灯するぐらまで下げて下さい。楽器ごとの適切なゲインを設定する事で、最高のパフォーマンスを引き出す事ができます。

8. REVERB リバーブ

チャンネルごとにリバーブの量を調整します。リバーブセレクトボタンで、リバーブタイプを選択できます。まずタイプを選んでから、このつまみで各チャンネルごとの量を調整して下さい。

9. 3-Band EQ 3バンドEQ

チャンネルごとにベース、ミドル、トレブルの音質を調整します。楽器やマイクの特徴に合わせて調整して下さい。

10. MASTER VOLUME マスターボリューム

マスターヴォリュームは、スピーカーから出てくる音量をセットするのに使います。メイン・アウトプットには、リミッターが組み込まれています。リミッターが掛かりはじめると、クリップLEDが点灯します。リミッターが作動しても大きな音の変化はありません。スピーカードライバーを過熱させないように、単純にボリュームを制限します。

11. AUX INPUT AND VOLUME AUX入力およびボリューム

このインプットは、1/4"ジャックと3.5mmミニジャック両方を備えています。どちらもステレオ入力用です。ボリュームコントロールで入力レベルを調整します。入力が最大限になるとクリップライトが点灯します。

12. MIX IN AND OUT MIXイン アンド アウト

他のスピーカーとのデジチェーンを行う場合や外部ミキサーと接続する場合に使用します。出力はXLRメスジャックです。

